2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	運動学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期　木2	教室名	402号室
担当教員	前島 龍仁	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

作業療法において、対象者の作業・課題遂行上の問題を明確化・解釈して原因を推察していく一連の臨床思考過程には、ヒトの身体・運動機能の理解、運動・動作の分析的視点、異常運動を見極める観察眼やその原因を分析する思考力が必要であり、人体の形態・構造・機能に関する運動学的知識が必須となる。この科目では具体的に、股関節・膝関節・足関節を中心に下肢の運動メカニズムについて、脊柱・体幹の運動について、顔面と頭部の運動について、姿勢と歩行の概要について、運動学習について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

・期末試験(筆記)100%で評定する。
・運動学の基礎を学習し、関連する物理学・解剖学・生理学の知識を総合的に身につけたかどうかで判断する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: 15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法教科書 運動学(中山書店)、PT・OT 基礎から学ぶ運動学ノート［第2版］(医歯薬出版)、プロメテウス解剖学コアアトラス[第4版](医学書院)
■参考書: イラスト解剖学［第10版］(中外医学社)、基礎運動学［第6版補訂］(医歯薬出版)

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
事前学習(20分) 教科書等での予習。
事後学習(40分) 資料整理と復習、運動学ノート学習。

《履修に当たっての留意点》

・予習のために学習内容にざっと目を通しておくこと。 ・学習は予習よりも復習をしっかり行い、不明点がないようにしていくこと。
・体の中の目に見えない部分(構造・走行など)を理解していくこと。 ・アプリ「ヒューマン・アナトミー・アトラス」の使用推奨。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①股関節の構造と機能について説明できる。	教科書	【事前学習】シラバスを読んでおく。(20分)
		各コマにおける授業予定	**オリエンテーション、股関節の運動学(1)** 科目オリエンテーション、シラバス内容確認を行う。 股関節の作用、骨、関節、靭帯を学習する。		【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	②股関節の関節運動、筋の起始・停止と神経支配について説明できる。③股関節の関連事項について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分)
		各コマにおける授業予定	**股関節の運動学(2)** 股関節の関節運動、筋の起始・停止や神経支配、関連事項を学習する。		【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	④膝関節の構造と機能について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分)
		各コマにおける授業予定	**膝関節の運動学(1)** 膝関節の作用、骨、関節、靭帯、半月板を学習する。		【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑤膝関節の関節運動、筋の起始・停止と神経支配について説明できる。 ⑥膝関節の関連事項について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分)
		各コマにおける授業予定	**膝関節の運動学(2)** 膝関節の関節運動、筋の起始・停止や神経支配、関連事項を学習する。		【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑦足関節・足部の構造と機能について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分)
		各コマにおける授業予定	**足関節・足部の運動学(1)** 足関節・足部の作用、骨、関節、靭帯を学習する。		【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑧足関節・足部の関節運動、筋の起始・停止と神経支配について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**足関節・足部の運動学(2)** 足関節・足部の関節運動、筋の起始・停止や神経支配を学習する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑨足のアーチ構造、足関節・足部の関連事項について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**足関節・足部の運動学(3)** 足のアーチ構造、足関節・足部の関連事項について学習する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	①～⑨	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**下肢のまとめ** 股関節・膝関節・足関節の運動学について振り返り、不明点がないように情報を整理する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑩脊柱・体幹の構造と機能、筋の起始・停止や神経支配について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**脊柱・体幹の運動学(1)** 脊柱の構造と運動、頸椎・頸部の構造と機能、筋の起始・停止や神経支配について学習する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑩脊柱・体幹の構造と機能、筋の起始・停止や神経支配について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**脊柱・体幹の運動学(2)** 胸部（胸椎・胸郭）の構造と機能、腰部（腰椎・骨盤）の構造と機能、筋の起始・停止や神経支配について学習する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑪顔面と頭部の構造と機能、関節運動と筋の作用、筋の起始・停止や神経支配、表情筋の作用と神経支配について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**顔面と頭部の運動学** 顎関節の構造と機能、関節運動と筋の作用、筋の起始・停止や神経支配、表情筋の作用と神経支配について学習する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑫物体の力学的安定性、立位姿勢保持、姿勢制御、歩行周期、正常歩行の運動学的特性、床反力について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**姿勢と歩行の概要** 姿勢と姿勢制御、物体の力学的安定性、立位姿勢保持と姿勢制御、歩行周期、正常歩行の運動学的特性、床反力について学習する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑩～⑫	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**脊柱・体幹・顔面・頭部のまとめ** 脊柱・体幹の運動学、顔面と頭部の運動学、姿勢と歩行の概要について振り返り、不明点がないように情報を整理する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑬運動学習の基本概念、成果に影響を与える要因、成果の測定方法について説明できる。	教科書	【事前学習】教科書等での予習。(20分) 【事後学習】資料整理と復習、運動学ノートでの問題演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	**運動学習(1)** 運動学習の定義、運動学習と記憶の関連性、運動学習の3段階、運動学習のための練習方法、学習の転移、運動学習における動機付けとフィードバックについて学習する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑭パフォーマンスと運動技能、運動学習の諸理論について説明できる。	教科書	【事前・事後学習】期末試験に向けた総復習を行う。(60分)
		各コマにおける授業予定	**運動学習(2)** パフォーマンスと運動技能、運動学習の諸理論について学習する。		